

HONEY CAGE



カティア姫

この遠征を終えたら…
騎士としてだけではなく
一人の男として

ずっと君の隣に…
居させてはくれないか

スッ…

深き森に住まうエルフ族—
彼らは魔の力に影響されない体質と
人間族との友好関係によって
その平穩を保ち続けてきた

若くして病没した王が遺した
一人娘カティア姫と
騎士長ユリアン結婚の報せに
指導者を失っていた国民は
大いに沸いた

しかし

人軍の援軍要請に応えた
騎士団が不在の中
一部の人間族が魔族と結託し
エルフ領を強襲—

女子供も全てが捕えられ
捕虜となったが
王女であるカティアの姿は
その中に無かった

何を仰るのです
カティア姫!?

和平交渉など！
相手は魔族に魂を
売るような輩ですぞ

しかしそれでは
捕虜になった皆は!!
年寄りや幼子も
いるのに……

民については……
やむを得ずまい
姫の安全が第一

あと十日も経てば
ユリアン殿が部隊を連れて
戻るはず……
それまで耐えるのです

そんなっ





それで？

エルフの王女様が
自ら出向いての
用件は？

ロットン将軍！
どうか民の解放を…

老人や赤子まで
捕らえる必要が
どこにありましよう！！

捕虜が必要ならば
王族であるこの私が
代わりに…

ククッ…
クハハハッ！！

な…何が
おかしいのです！！



なっ!?

ガッ...

ハッ

貴様が手に入れば
捕虜の処遇など
どうでも良い...

自ら
檻に飛び込むとは
愚かであったな
姫よ



性に疎いエルフの
生娘には分からんか

でなければ
単身出向くような
愚行は冒せまい

教えてやる

儂がエルフ領を
攻めた目的はな

貴様一人だけ
なのだよ

...え?



...そうだ
それが正解だ

ガッ...

...



なにをっ

駄目…

今の男の
機嫌を損ねては…
でも…

こんな…
こんな事のために
魔族に降り…

国を攻めたと
仰るのですか…っ

降ったのでは
無い

利害関係による
同盟だ

まあそう
憤るな

魔族共の手前
本来エルフは皆殺しに
せねばならん所だ

それを
貴様という小娘一人が
僕の物になるだけで

捕虜の奴らを
解放してやろうと
いうのだぞ

お待ちを…っ!
どうかそれだけは
ご容赦を…

…何故だ?

婚儀まで
純潔を守るのが
エルフの掟

王女である
私とて…
例外では
ありません

身勝手な
お願いであることは
承知しております…

ですがどうか…
どうかお慈悲を…っ

…ほう

よかろう

貴様が掟を破り
王女でなくなつては
農も困る…
人質の意味を
失うからな

だが…

貞操以外は全て
農に捧げよ

…それが貴様の
願いを受ける条件だ

あ…
ありがとうございます…
ごさいますっ…

よかつた…
後はとにかく
時間を稼げば

ユリアンが
きつと…

ついて来い



ここ...こんな
はれんちな
破廉恥な格好...

ククッ...
似合っているぞ
姫よ
まるで娼婦
ではないか

こちらを
向け

はい...
ロットン様

来い
儂が貴様に
快樂というものを
教えてやる



恥ずかしくて
頭がおかしく
なりそう...

失礼
します...



裸同然の格好でこれ以上何を恥じ入ることがあるか

やっ…

もっと股を開け



マッサージ用のスライムオイルだ

お姫様をリラックスさせてやろうと思っ…

や…何ですかこれ…っ

ひっ…

こんなの…ぬるぬるして気持ち悪いだけです…

なあとじきに慣れてくる

あれ...あれ...

触れられるのも嫌なはずなのに

本当にマッサージのようで

気持ちよく...なってる...

んっ!?

...ほう?

ロットン様っ
そ...そのような汚いところは...

FLY...

びん

んんん

ん

エルフ族は寿命が長い故に
性感が鈍いと聞いたが…

貴様のような生娘でも
尻穴は排泄の刺激で
起きているのだな

んひっ!?

んっ…

くくっ…
面白い

ほおっ♡

だめ…えっ

そんなっ私…
お…お尻の穴で
なんてっ

それにしても
随分なヨガリ
っぷりだな

民に慕われる
清廉なお姫様は

んっ…
ふううう…

ケツ穴ほじられて
マヌケに喘ぐ
変態マゾだった訳だ

ちがっ…

ひんッ♡

違うないさ

自分の体に
訊いてみよ
悦びに
打ち震えている
ではないか

いっ嫌…
…ひッ

なんでっ…
さっきまでと
ぜんぜん…違っ

体が敏感に
なって…!?

ふむ…
右の乳首も
感度が良いな

なっ…
なにこれえっ

性感帯を刺激され
本性が目覚めたのだ

ほん…
しょう?

そうだ

今まで知らずに
ただだけで
これが貴様の
本当の姿…

卑しく
快楽を貪る
雌豚だ

自覚しろ
そして
どこまでも
堕ちてゆけ…

この儂が
導いてやろう

認めろ！
快樂に身を
委ねてみよ！

ユリアン…
私…
頑張るから…っ

嫌…ですっ
んんっっ！！

こんな…のッ
ぜんぜん…おっ♡

意地を張るな
今までの自分など忘れて
初イキをケツアクメで
迎えてしまえ！！

んんっっ♡
んんっっ♡
んんっっ♡

ククッ…

堕ちては
おらぬが…

これでは
一週間も
持たぬな…？

は…♡



ぜ…全部
入りまひた…あ

クク…
貴様の尻穴も
馴染んできた
ではないか



ではそのまま
フェラチオをしろ
教えた通りにな



ロットン様の
お…っおちんぼ
…頂きます



くっ…
良いぞ…!!
初めてにしては
上出来だ

これが
男の人の…
おちんぼ…



なんだろう
この匂い…
何故か
わからないけど
はひ♡
好き…かも…
癖になっちゃう

どうだ？
コイツを貴様の
ケツ穴にプチ込めば

そんな貧相な玩具とは
比べ物にならん快楽を
味あわせてやるぞ

そ…
そんなのっ

ぜったい
きもちいい…♡

そうだっ
チンポに
吸い付け

欲しい…

出すぞ…ッ

貴様も
尻のソレを
ひり出せっ！

おちんぼ
入れたい…♡



…そろそろ
トドメだな



お…
お尻で…

知りたい…
おちんぼの味…



あぁ…
駄目…



三日目

ククッ…
撫でるだけで
腰が跳ねて
いるぞ

物欲しそうな
顔をしておって…
そらケツを出せ

そろそろ
ホンモノを
味わわせてやる



あぁっ…

おちんぼが
狙い定めてる…

さぁ…
淫欲の果てへ
連れて行ってやる

入れちゃうんだ…
わたしのお尻…
け…
ケツマンコに…



まだくる...♡

ズ... 来る...♡

あ...♡

あ...♡

あ...♡

あ...♡



ウウウ♡

ぬ...♡

ん...♡

奥...う!?

あ...♡

あ...♡

あ...♡
うそ...♡
深い...♡

無理...♡
こんなの♡
むり...♡



待っ!?

いま抜いちゃ...♡
あ...♡

あ...♡

あ...♡

あ...♡

あ...♡

あ...♡

あ...♡



一突きで失禁か
どうだ？
気持ちよからう

前にも栓が
必要か？

だっ駄目：
それは絶対らめっ♡

そうだ
もっと喘げ！
もっと乱れろ！

己の
卑しい本性を
認めるのだ！

そんな貴様を
僕はどこまでも
愛してやるぞ

ユリアン
助けて：
助けてえっ…

こんなの：
耐えられる
わけないっ…♡

落ちるっ…
おちんぼに
征服されちゃう…♡

認めましゅー！
好きいつ♡
ケ：ケツ穴ずぼずぼ
されるの大好き♡

貴様は何だ？
王女か？
違うだろう
俺に告げてみる

ケツハメして
おもらししちゃう
ロットン様専用の
変態どれいです♡

私がお主人様と
けつまんこセックス
するのは

気持ちいいの
我慢しようとしたけど
むりでしたあ♡

おちんぽに
無条件こーふく
いたひまひゅ…♡

皆を救う為なの…
だから許して…♡

よくぞ
言った…

ご褒美を
くれてやる！

ハ♡

ハ♡

あ♡

ケ

ケ

ケ

ケ

ケ

は♡

は♡

ちゅー♡

ニッ



始めろ

■■
目目

おおっ!

ザッ

ああっ♡
見てる…

人間の
おじさん達が
えっちな目で♡

♡

森のエルフ領は
魔物達に
滅ぼされたはず…

まさか
ロットン将軍が
救出した中に
姫も居たとは

がや

なんという
淫らな踊り…

我々を誘っている
ようではないか

♡

がや

早く
助けに来て…
ユリアン

しかしあの貞淑な
エルフ族がこうも
淫乱に…

堪りませんな

ぶり

ぶり♡

はやく…♡